

TOKUYA TIMES

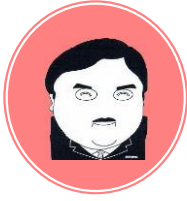
とくや
タイムズ

Now

http://ito-tokuya.com/tokuya

伊藤 とくや

Winter, 2009-10, vol.11



吉田城（址）、美術博物館等文化施設と、テニスコート 陸上競技場、野球場、武道会館等のスポーツ施設を有する 豊橋公園と、その周辺の整備と活用について

第11号発行のご挨拶

吉田城址に在る豊橋公園は国有財産無償貸付契約に基づき豊橋市が管理しています。明治維新後吉田城は、藩籍奉還を経て兵部省の管轄となり、大日本帝国陸軍歩兵第18連隊が置かれます。終戦後1947年から49年にかけて戦災復興事業として整備され、1954年には「豊橋産業文化大博覧会」開催、同年「豊橋動物園」開園などを経て現在に至ります。

豊橋市民の心のシンボリック公園として吉田城（址）、美術博物館、三の丸会館といった文化施設、軟硬式テニスコート、陸上競技場、野球場、武道会館等のスポーツ施設、また市民が日常的に緑にふれあうことのできる自然空間として広く親しまれている都会のオアシスです。

現在の第4次基本構想・基本計画の実施計画では、豊橋のシンボル公園として、既存の施設を最大限に活用した、賑わいのある公園づくりを行なうとしています。また「当面の整備」にと変更を余儀なくされたものの、整備の基本的な方針の前提は平成3年3月に策定した「豊橋公園整備構想」でした。

さて、わが市は主要戦略としてシティ・プロモーションを推進していきますが、その要のひとつは、歴史と文化に富む、わが市のアイデンティティ「豊橋公園」ではないでしょうか！

第5次豊橋市総合計画(2011年度～2020年度)の策定を踏まえ、以下を質問しました。

(1) 吉田城（址）について

(ア) 発信（イ）保全・復元（ウ）活用について

(2) 豊橋美術博物館について

(ア) 収蔵品の収集・整理と展示（イ）課題とされている収蔵庫・展示室等施設のリノベーション（ウ）鑑賞・創作支援、学習支援、学校との連携（エ）友の会・ボランティアとの連携、市民との協働について

(3) 三の丸会館について

(ア) 利用の現状と課題（イ）さらなる利用の促進について

(4) 軟硬式テニスコート、陸上競技場、野球場、武道館等のスポーツ施設について

(5) 「豊橋公園整備構想」と豊橋公園の認識について



吉田城本丸二之丸略絵図

問題【1】 吉田城（址）について

吉田城は、1505年今川家家臣の牧野古白による今橋城に始まる。東三河の要である今橋城は、今川、武田、松平（徳川）ら戦国武将が攻防を繰り返す、幾度かの落城も経験し、名も今橋から吉田へと改められる。

1565年、徳川家康は吉田城を攻略、1590年には池田照政（輝政）が入封、15万2千石の縄張りをする。本丸には四方を固める鉄櫓、入道櫓、千貫櫓、辰巳櫓と御殿を有し、他にも雷櫓、川手櫓など多数の櫓を備える東三河の要の城で、東は八町通5丁目、西は関屋町、北は豊川、南は呉服町、鍛冶町まで東西1400m、南北約600mの縄張りは、東海道では駿府城、名古屋城に次ぐ三番目の規模を誇る、まさに大城であった。

現在吉田城として紹介されている鉄櫓だが、この櫓は1954年の産業文化大博覧会開催にあわせ展望台として再建された模擬鉄櫓であり、本来の鉄櫓は今以上に大きい天守の機能も備えた三重櫓ともいわれ、事実江戸時代に描かれた絵図約70枚のうちの8枚には天守と表記されている。

また吉田城については、多くの優れた研究書や資料があり、さらに戦国時代の東三河を主要な舞台に、巻頭から吉田城の戦が繰り広げられる大河小説「風は山河より」(当地出身宮城谷昌光著)までである。

しかし、残念ながら吉田城が、東海道において駿府城、名古屋城に続く三番目の規模を誇る城であったという認識や、池田照政公入封時の壮麗さは、城郭に詳しい方を除き低いと言わざるを得ず、それは地域学習の不足かも知れない。とは言え、豊橋市制施行100周年の、築城500年記念展や吉田城シンポジウムなど優れた取り組みは大いに認める。そこで以下を伺う。

問 (ア) 中心市街地最大の遺跡である吉田城をもっと発信すべきでは
(イ) 1707年、1854年の大地震では、建物・櫓・門・石垣・土塀が大きく破壊された、詳細な報告書も現存している。東海地震が懸念され久しい。

1点目 大災害に罹災した際の保全・復元はどの様に進めていくのか。

2点目 吉田城の計画的な調査を今後どの様に進めるのか。

(ウ) 愛知県は武将観光を推進している。「シティ・プロモーション」では、映画やテレビのロケ誘致・撮影の支援をあげている。「風は山河より」の大河ドラマ誘致など様々な戦略・戦術が考えられるが。

答 教育部長 (ア) 2005年の鉄櫓リニューアルや石垣補修工事、築城500年を記念展覧会・シンポジウムを開催、歴史や遺構をPR、解説板も設置している。今後は、美術博物館にても随時情報を発信していきたい。

(イ) たしかに、江戸時代には吉田城は2回の大きな地震に逢い、甚大な被害を被っている。災害による復元は、まずは旧状に復することを第一とする。

また、1977年以降の調査は、工事に伴う緊急発掘調査であり、文化財保護法の基本理念に立った遺構の保存が最も重要と認識している。

(ウ) 鉄櫓は日曜祝日は一般開放、第2、第4日曜には、観光ボランティアガイドも配置している。今後とも本市の象徴のひとつとして活用して行きたい。

おもい 本市役所は吉田城の遺構に建つ。本市徽章は吉田藩最後の大名「大河内松平家」の馬印「千切」。市民要望、老朽化対策、復興事業として、吉田城復元が求められることは充分ある。事実「豊橋公園整備構想」では、明治初期の写真をもとに吉田城の一部復元整備することが計画されていた。吉田城（址）の有形・無形の遺産を今後積極的に有効活用し、歴史を主軸とした本市のアイデンティティに則したシティ・プロモーションに期待する。

【2】

**豊橋
美術博物館
について**



問 現在の豊橋美術博物館は築後30年を迎え大規模な改修を必要としている。新美術博物館は、平成14年豊橋美術博物館等整備事業基本計画にて、「美術・歴史を通じて、市民の夢や生きがいを育み、地域の未来に貢献する」を理念に掲げ、「生涯にわたって活用できる」「誰もが思い思いに過ごせる」「周辺環境や関連機関とのつながりを活かす」を柱とした「とよはし市民ミュージアム」としてすすめて来たが、「第4次基本構想・基本計画・後期基本計画（18～22年度）」の見直しにより「第5次基本構想・基本計画」の中で「改めて検討」としている。青木教育部長は美博を次期総合計画に位置づけるためには、必要性について、どれだけ多くの市民に理解され、支持され、市民的コンセンサスを得られるかと述べている。そこで、築後30年経過した現在の美博の課題解決と時代に合致したリノベーション、さらに美博整備事業基本計画に整合した新美博への準備と取り組みを個別に仕分け、整備を推進する観点から、**【ア】**豊橋の収蔵品の核「メイン・コレクション」は何か。どのように充実させるとともに、必要に応じて整理していくつもりなのか、収蔵品の収集・整理と展示について。**【イ】**課題とされている空調、照明、仕切壁、会議室、展示室、エレベーター、トイレ、大型絵画搬入口をはじめ環境配慮、美術博物館としての公園と調和した品位ある美しさなど美博のリノベーションのベストウェイについて。**【ウ】**鑑賞・創作支援、美術教育、歴史教育とともに美博は学校との連携にまだまだ取り組み余地があると思うが、認識と対応について。**【エ】**美術博物館友の会をはじめとしたボランティアとの市民協働について **2回目**に「理念の推進」と「美博の使命と目指す先」について伺った。

答 教育部長 **【ア】**美術では渡辺華山はじめ華椿系画家、中村正義・星野真吾・平川敏夫や、岸田劉生と豊橋の弟子・高須光治を、歴史資料では吉田城・吉田藩・吉田宿・ええじやないかなど、地域に密着したコレクションが非常に重要と考えている。**【イ】**美術品により異なる収蔵庫の温湿度調整力、より多く常設展示するための更なる展示スペースの確保などまずは喫緊の課題解決から。**【ウ】**ワークショップ、いきいきバスポート活用、授業としての美術鑑賞を推進している。若年層の来館者数は増加中。**【エ】**美博友の会は、美博のサポーター。会報誌の発行・見学会・講座・講演会など多事業を展開、意見等もいただいている。随時ボランティアガイドも養成している。**2回目** 豊橋を中心とした東三河を念頭に独自の個性を発揮、全国から集客できる魅力あふれる施設づくりを行って来た。今後も豊橋ならではの、個性的で優れた郷土作家を中心とした美術作品や歴史資料を収集し、常設展示して行きたい。

おもい 東三河という視点で美術館、歴史館を再構築するということは、文化による東三河連携の強化である。さらにその場所が戦国時代以来500年間の東三河の要である吉田城址という意義は大変に深い。

1997年にオープンしたグッゲンハイム美術館ビルバオ別館は、フランク・ゲーリー氏による建築デザインが注目を集め、年間100万人超の来館者は当初予想の年間50万人を大きく上回り、しかも大半はスペイン外からの観光客が占める。ビルバオはほかに観光資源が乏しく、旅行者の目的はほとんどが美術館来訪。バスク州政府は負担した建設投資額を3年間で回収できた。美術館誘致で観光都市として再生したこの成功例は、「ビルバオ効果」と呼ばれている。

【3】 三の丸会館について

問 **【ア】**日本文化が新しい学習指導要領になり久しい。利用の現状と課題について**【イ】**さらなる活用について。

2回目 周辺の資産をもっと活かさないか。

答 文化市民部長 平成20年度利用件数約680件のうち、茶道の利用は約450件。課題は、現在青少年を対象とした茶華道教室が実施されているが、今後は、若い世代への伝統文化の普及・継承の観点から、教育との連携などさらに取り組みたい。和室では、お茶席以外にも俳句、邦楽、華道、会議など広く伝統文化関連の活動に利用されている。施設としての活動だけではなく、周辺環境と互いに影響しあいながら、お茶を楽しむということを通し、歴史や文化を紹介する会館として活用したい。

【4】 スポーツ施設について

問 郊外の主要スポーツ施設を配置推進するなかで、豊橋公園内のスポーツ施設は今後どのように整理・整備していく考えなのか。

2回目 市民の声をどのように集め、反映させているのか。

答 教育部長 本市は豊橋公園内総合運動場、岩田総合球技場、総合スポーツ公園を中心に、地区体育館などを整備している。第5次総合計画の中で検討するが大変厳しい財政状況。毎年20万人を超える利用者は、子供からお年寄りまで幅広い。スポーツ団体、学校関係者等から毎年提出される要望書、体育協会との懇談会、整備構想、基本計画との関連も踏まえ緊急度の高いものから順次整備して行く。

【5】 「豊橋公園整備構想」と豊橋公園の認識

問 「豊橋公園整備構想」と「豊橋美術博物館整備事業基本計画」を踏まえた「豊橋公園とその周辺」について。

2回目 上位計画、関連計画等との整合性について。

答 都市計画部長 平成3年に策定された豊橋公園整備構想は、スポーツ施設の移転終了後、「歴史と文化の公園づくりを進めることを考え、①親しみやすく、かつ風格のある総合公園②水と緑にふれあえる、まちに開かれた自然空間③本格的な歴史と文化に親しめるプロムナードの3項目を基本テーマに策定した。樹齢200年を超える大木や親水性がある豊川の眺めなどの自然景観や吉田城址などの歴史的遺産など大変多くの魅力を持っている。

豊橋の核となる公園として、ゾーニング、動線計画、回遊性、「豊橋公園の森」と、親水景観を大切に、吉田城址、美術博物館などの施設と調和のとれた、静の公園としての魅力が高まる公園整備に取り組みたい。

総括質問 5次総策定にあたり 豊橋公園の将来像は如何にあるべきか

答 加藤副市長 豊橋公園は、まちなかの緑豊かな公園というだけでなく、私たちのふるさとの歴史あるいは激動の時代を静かに見守ってきた、市民の心の拠り所。この貴重な財産を生かしながら後世に引き継ぐことが、私たちに課せられた大切な使命。ご指摘のとおり現在の豊橋公園は、歴史と文化の拠点、スポーツの拠点、都心部に残された安らぎの自然空間といった、さまざまな顔を持っている。現在作業中の第5次総合計画のなかで、総合スポーツ公園など他の施設等との調整も図りながら、整備と活用の方針について整理したい。

また、都心部にこれだけの充実した公園を持つ都市は少ない。本市の大きな魅力の一つとしてしっかりアピールすることは、シティ・プロモーションの観点からも大変重要と心得ている。

おもい 今が攻め時と佐原市長はシティ・プロモーションを推進するとの事。

現実主義で緻密な観察眼に基づき、それに対応した記述を行った孫子は「彼を知りて己を知れば、百戦して殆うからず。彼を知らずして己を知れば一勝一負す。彼を知らず己を知らざれば、戦うごとに必ず殆うし」と謀攻篇に著している。

今まさに、首都東京に打って出んと欲するならば、彼の地を知り、わが市を知り、整備を進めることではないでしょうか。

豊橋市よ。文化が都市を再生させた事例を良く学び、実践することで、必ずや都市再生を果たすと信じて止まない！

“TOKUYA TIMES” 編集後記

世界中が不況の苦しき中でもがくなか豊橋を元気にするには！
そのためには、先ず私たち豊橋市民が『豊橋』『東三河』に対して自信と誇りを持つことなのではないでしょうか。
中心市街地の「いちばん大きく美しい遺跡」を再生の起点として、故郷についての意識革命を始めようではありませんか。
文化を伝承しつつ新しい文化の創造に向かい歩を進めるのは今！

市政報告会のご案内

平成22年2月18日(木) 18時30分より

松葉町2丁目カリオンビルにて開催します。

一般質問・補正予算など12月議会の報告と、新政権誕生と地方自治の行方がテーマです。

市政報告会へ是非ぜひお越し下さい！

発行

伊藤とくや事務所
豊橋市松葉町3-70
FAX: 0532-56-5521
TEL: 0532-53-4556
bbito@mx1.tees.ne.jp
携帯: 090-3855-9696